



6月 ピッコロだより

【6月の活動】～嬉しいことば 嫌なことば / 気持ちを知る～

月	火	水	木	金	土
		1 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)	2 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)	3 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)	4 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)
6 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)	7 あったかことば チクチクことば (あったかことばと チクチクことばを知る)	8 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)	9 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)	10 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)	11 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)
13 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)	14 あったかことば チクチクことば (あったかことばを 使いながらゲーム)	15 じっけん 実験しよう (あわをつく 泡を作ろう)	16 じっけん 実験しよう (あわをつく 泡を作ろう)	17 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)	18 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)
20 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)	21 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)	22 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)	23 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちの名前)	24 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)	25 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)
27 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)	28 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)	29 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)	30 いろいろな 気持ちを知ろう (気持ちすごろく)	※中学生の活動 ・6/11(土)～自分の性格を知る ・6/25(土)～友だちってどんな人？	

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本):7日(火)、10日(金)

言語聴覚士(永山):20日(月)、21日(火)、22日(水)、24日(金)、27日(月)、28日(火)

理学療法士(樋口):14日(火)、15日(水)

今月の主な活動 嬉しいことば 嫌なことば / 気持ちを知る

ねらい:相手が嬉しいと思うことばを考える / 自分が感じるさまざまな気持ちについて考える

☆相手が嬉しい、不快に感じることばについて考え、ゲームを通し日常で使える、相手が嬉しいと感じることば(あったかことば)を使う練習をします。 <あったかことば チクチクことば>

☆日常生活で感じた気持ち(嬉しい、悲しい、悔しい等)を振り返り、そのエピソードと気持ちを発表します。また、友だちが感じる気持ちを知り、相手の気持ちを考える経験を積みます。 <いろいろな気持ちを知ろう>

★児発・放デイ父母保護者懇親会の延期についてのお知らせ

7月2日(土)に開催予定でした児発・放デイ父母保護者懇親会は、鹿児島県内における新型コロナウイルス感染状況の減少傾向は高止まりしていることから、延期とさせていただくことになりました。

尚、延期日につきましては、11月を予定しております。新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、実施する際には改めてご案内させていただきます。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後)13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



○ご存知ですか?デフバスケットボール

皆さん、こんにちは。はじめはじめした日が増えていますが、どのようにお過ごしでしょうか。軽く身体を動かすことでスッキリすることもあるかもしれません。今回のコラムではデフバスケットボールと、デフバスケットボール選手の津屋一球(つやかずま)さんを紹介したいと思います。

私は数年前にたまたまプロバスケットボールの試合を観て、すっかりバスケットボールファンになりました。選手たちの力強く軽やかなプレーはとても爽快で、あんな風に動けたらどんなに気持ちがいいだろうと思います。

ある試合で、私の応援しているチームが相手チームの新人選手に 20 点近くとられてしまったことがありました。三遠ネオフェニックスの津屋一球さんです。ルーキーなのにすごい!と印象に残っていたのですが、後日のインタビューで津屋さんには聴覚障がいがあり、三遠ネオフェニックスの他にデフバスケットボールのチームに所属していると知りました。



デフバスケットボールは聴覚障がい者のバスケットボールで、デフ(deaf)は英語で聞こえない人、聞こえにくい人を意味します。同じ障がい者スポーツの車椅子バスケットボールなどに比べ、認知度はまだ低いようです。補聴器を外してプレーするという決まりと、笛やブザーに加えて旗でも合図をすることのほかは、一般のバスケットボールと同じルールです。

補聴器なしではほとんど聞こえないという津屋さんは、幼い頃から「耳に何かつけているのは自分だけだ」と疎外感を覚えていたようです。学生時代にデフバスケットボールと出会い、「ぼくだけじゃないんだ」と感じる事ができたと話されていました。現在は、バスケットボールとデフバスケットボールの両方で日本代表を目指し、聞こえない人たちの目標になりたいとデフバスケットボールの普及に取り組まれています。

音が聞こえない環境で良好なチームプレーを行うためには、足を鳴らして振動で知らせたり、目くばせやアイコンタクト、首の動き、指さしを使ったり、体全体でコミュニケーションをとるのだそうです。ことばを使わないコミュニケーションという点で、まだ話しことばを使えない子ども、ことばが伝わりにくい子どもとのコミュニケーションの取り方と重なる部分があり、特に伝わったかどうかを確認することの大切さに共感しました。

私たちは子どもたちと接するとき、どのような働きかけが伝わりやすいのかな?と考えながら接すること、身振りや絵カードなどを使う際には、注目しているかな?理解できているかな?と子どもの様子をよく見ること、遠くからや背後からではなくなるべく近づいて視線を合わせて話しかけることや、注意をひきつけてから話しかけることなどを心がけています。そうすることで、より伝わりやすく、子どもの反応や発信(笑顔や発声、動きなど)が増えることにつながると考えています。

もし働きかけ方、ことば掛けに迷うときには、ぜひ、お気軽に私たちにご相談ください。

言語聴覚士 阪上 桃子

